

こまつがわからのお知らせ

<就労支援事業>

6月に入り新型コロナの影響による障害者の就労事情が気になります。こまつがわの利用者さんからは、お仕事を再開している人、再開しても依然より勤務日数が少ない人、まだ休業中の人などそれぞれ状況が違っているようです。また、再開後の継続も心配なところ。個々の状況は違いますが、私たちの生活様式は変わらざるを得ないでしょう。就労支援事業プログラム「茶話会」で新型コロナの影響について、今までとこれからを話してみたいと思っています。

<居住支援事業>

みなさんこんにちは。暑くなってきましたね。お家の中でも熱中症には気をつけていきましょ。そして居住支援事業は少しずつ動きはじめています。登録希望の方、不動産屋さんと一緒に内見をしている方、引っ越し後の手続きを一緒に進めている方など。これからも引き続き不動産屋さんとお部屋探しの希望がある方と協力し合いながら、住みたいお部屋を一緒にみつけていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します！！

<ピアサポート支援事業>

今年度よりピアサポート支援事業がスタートします。「ピアって？ピアサポーターって何？」と疑問に思う方も多いことでしょう。「ピア」とは「仲間・友人・対等者」、「ピアサポート」は仲間同士の支え合いという意味です。病気や障害を経験した当事者だからこそ分かち合える力を活かして活動する人々を「ピアサポーター」と呼びます。今、当センターではピアサポーター育成に向け、研修・実習プログラムの準備等を行っています。興味のある方はスタッフまでお声がけください。

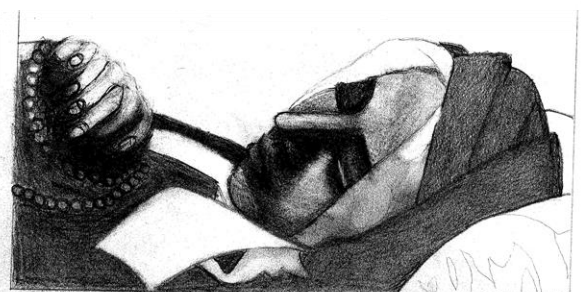
<広報部 ぼくら>

今号から3号連続で「地域猫」の特集を組む予定です。私事ではありますが、数年前まで私は猫嫌いでした。そんな中、近所に毎日寄ってくる地域猫がいて、ある日こわごわ撫でてみたのです。猫は甘えてきて、その後徐々にその猫とは友だちになり、今では会うと挨拶をする仲です。猫好きとなった今では、落ち込むと外に出てその猫に会いに行きます。そんな地域猫たちへの恩返しのためにもあり、本企画を立ち上げました。この問題ぜひ一度考えていただきたいです。（広報部O）

こまつがわ美術館

センターこまつがわの芸術家さん達が心を込めて...

今回は当紙の題字も担当する宗新光さん特集です。宗教画が得意な宗さんの荘厳な作品群をぜひご堪能ください。



ベルサデッタの遺体 2017.11.12
少女の頃 聖母マリア様に18回会ってルルドに教会を建て、
欲しいと頼まれ、ルルドの歩跡の水を土掘り出して、
多くの人々の病いを癒おしています。
もう死んでから、百年以上に成りますが、
遺体はそのまま残っています。 三セフ Shimmitzu Koh

宗